

校長室から

4月16日版

保護者のみなさま・生徒のみなさんへ

マスコミ等の報道によってご存じの通り、国や府による休業要請を受けて、本市でも学校職員の在宅勤務の指示が出ました。職員全体を2班に分けて勤務することで、感染リスクを減らし、万が一の感染に備えようと考えています。昨年から在籍している教員が全員そろって自宅待機にならないような出勤編成はしますので、生徒のみなさんの心の悩み・学習に関する相談などは、電話で受けさせていただきます。たまたま相談相手の教員が自宅勤務の日に当たった場合は、後日の勤務日に当該教員からご連絡差し上げることも考えています。よろしくご理解ください。

校長室からについて

西中学校に通う生徒のみなさん・保護者のみなさん 5月6日までの休校措置によって大変不自由な思いをさせている点申し訳なく思います。今日から、休業期間中の平日週2・3回、「校長室から」としてみなさんにホームページ上で記事を発信していきたいと思えます。生徒のみなさんも保護者のみなさんも目を通していただくとありがたいです。

毎回発信する内容は主に3つです。

- ①この新型コロナ関連で日々変化せざるをえない学校の方向性に関する話。
- ②校長として、学校(教員)として、今年度生徒のみなさんにどんなことを期待して、どんな力を伸ばして欲しいと願っているかの話。
- ③世界のことに目を向けていただくために、私が平成7年から3年間住んでいた、アラブ首長国連邦での経験や国際理解に関する話。

以上の3点が主な内容です。



★コロナ関連学校方向性ニュース

4月13日・14日・15日と3日間の教材等配付日を設け、クラスターを避けるために、時間差による分散登校を実施し、教科書・副読本・学習課題・学年だより・ご提出願いたい書類などを配布しました。

2週間ぶりに生徒のみなさんの元気な顔を見ることができて、また、大事な教科書等を配布できて、ひとまずほっとしました。

教材配付と同時に、2・3年生に関しては、新しい学級のメンバー発表を行いました。ただし、今回は、担任発表は行っておりません。みなさまには担任名が未発表であることでの不安が広がったのではないかと心配しています。今年度の学級担任に関しては、人事異動や校内での校務分掌の変更などの関係で、昨年度より大幅に変わっています。そのことを十分な説明なしに発表することで様々な憶測や心配をうむと判断して、5月7日の学校再開後、「各学年教師が生徒一人ひとりに説明できるタイミングで発表する形でいこう」と職員会議で話し合って最終的には校長が決定しました。

政府や自治体での判断の混乱でもわかる通り、どの判断にも一長一短があり、A案を都合よしとする人も、B案を都合よしとする人も多種多様に存在します。メリットデメリットをしっかりと検証して判断をしたいと思っています。

広く保護者のご意見を聞かせていただくこともあるかもしれません。その中立ちをしていただくのが、PTAの役員さんや運営委員さんです。また、地域の方々のご意見をお伺いするかもしれません。その場合は、学校運営協力員さんや各自治会長さんや健全育成会のみなさんのお力をお借りするかもしれません。保護者の意見や地域の意見を学校教育に反映するためにも、PTAなどの存在が重要であることをご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

まだまだ、コロナウイルスによる休校が続き、ご心配をたくさん生じさせますが、できる限りの方針の発表と方針設定理由などのご説明を、この「校長室から」という記事で発信しますので、生徒のみなさんも保護者のみなさまもご一読いただけますようお願いいたします。
(休校期間中は、この「校長室から」を平日週2・3回程度更新します)



★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

先日の教材等配付日に、「校長先生からのミッション」として、二つの宿題を配布しました。学校として「国語力の向上」に関して今年度重点的に力を入れていきたい2つの点に関する宿題です。

1つ目は「読書力の向上」として、この休業期間に「一人最低一冊」は本を読もうという課題です。配布した用紙に読んだ本の情報を記録して提出してください。

2つ目は「表現力の向上」として、令和2年度用の「学校のマスコットのデザイン」を考えようという課題です。表現力というのは、話すことだけではなく、歌や演奏・ダンス・絵や工作・調理など様々な形での表現を含みます。マスコットのデザインは、全身ではなく顔だけで結構です。配布した提出していただく用紙が小さかったので、A4の紙にデザイン画を描いて提出してください。なお、作品の裏面には必ず新学年の学年・学級・番号・名前を書いて下さい。

このように、この一年間、私だけでなく、全ての教員が、「読むこと」と「表現すること」に関する課題を、授業・学級活動・全校集会・学年集会・学校行事・生徒会活動・委員会活動・部活動などの、あらゆる学校教育の機会にみなさんに要求します。1年後に目に見える形で、みなさん一人一人の「読む機会」や「表現する機会」が増え、その力が伸びていることを期待しています。



★アラビアンナイト(千夜一夜物語)

私は平成7年から3年間、アラブ首長国連邦アブダビ日本人学校で勤務しました。そこで、見たことや経験したことをみなさんにお伝えしたいと思っています。

目的は2つ。

1つ目…「読む力の育成」

私の稚拙な文章ですが、文章を読む機会に繋がってくれたらと感じています。

2つ目…「国際理解」

この文章を機会に、海外のことに興味をもってくれる生徒が増え、グローバルな考え方ができる生徒が増えてくれることを期待しています。

これからの時代はソサエティ5.0に突入するといわれています。

ソサエティ 1.0 は狩猟社会(動物を狩っていた社会)。

ソサエティ 2.0 は農耕社会(田畑を耕すことで安定した食糧確保を実現した社会)。

ソサエティ 3.0 は工業社会(産業革命により工業が発展した社会)。

ソサエティ 4.0 は情報社会(コンピュータやインターネットが普及した社会)。

そして

ソサエティ 5.0 は超スマート社会といわれています。

ソサエティ 5.0 の社会では、自動車の自動運転が実現し、工場はロボットでの生産にきりかわり、AI が人の最適な行動の仕方を提案する時代が来ると予測されています。

世の中は日々変化し、それだけに、「情報収集能力」と「情報処理能力」が無いと、時代に取り残されてしまいます。

日本や世界に興味を持ち、国内や海外で起こっていることを知り、そこに「どう生きていきたいか」というあなた自身の気持ちを重ね、考えを発信したり・行動したりすることが重要です。それが、これからの世の中を「生きる力」です。新学習指導要領でいわれている「主体的・対話的で深い学び」によって、身につけたい力がそのことです。

私の知るアラブの世界の様子は、20 年も前のことです。それでも異文化の理解という点では、参考になる点もあるかと思います。これから紹介するアラブのお話が生徒のみなさんの読むことや世界に目を向けることへのきっかけになればうれしいです。

「読書活動を進め」「世界に興味を持つことや知ること」「方針を決めて、発信したり・行動したりすること」を今訓練することで、きっとソサエティ 5.0 の時代に対応できる人物の育成につながると考えています。

